

# [ASF2023]～理系ソフィアンのつどい～

## 講演会・研究会イベント・懇親会のご案内

★主催：理工学部同窓会、理工学振興会 ★協賛：研究推進センター

今年も「理系ソフィアンのつどい」を行います。対面による講演会（オンラインの同時配信も実施）の他、研究会によるイベント実施や、新たな企画も計画中です。なおパネル発表は昨年同様SNS上のみになります。また、今年度は懇親会も実施する予定です。お楽しみ下さい。理工学部卒業生はもとより、他学部卒業生・教職員・現役学生もどうぞお気軽にお立ち寄りください。

**【日時】** 2023年5月28日（日）10：00～17：00

**【場所】** 上智大学2号館402教室～405教室、414教室

**【講演会】** 2号館414教室（講演の概要は3～4ページをご参照ください）  
オンライン（ZOOM）でのご参加の方、以下にてお入りください。

<https://sophia-ac-jp.zoom.us/j/94587343018>

ミーティングID・・・945 8734 3018

パスコード・・・・ASF2023

12：30～13：30「エネルギーセキュリティの最前線より ～女川原子力発電所の再稼働に向けた取組み～」  
講師 東北電力株式会社 女川原子力発電所 長谷川 勝広（'95 機械）

（休憩）

13：45～14：45「人工知能、かくも数奇な学問—データサイエンス大学院初年度に寄せて—」  
講師 上智大学理工学部情報工学科 教授 矢入郁子

**【研究会】** 2号館402教室  
10：00～12：00 IoT&AI研究会：ディスカッション・フォーラムを実施致します。  
テーマ：「次世代ミレニアムにおける人材育成と科学技術教育」 鴨川 威（'66 電気）

**【写真を楽しむ会】** 2号館403教室  
10：00～12：00 写真投影しています 「GIRIAMO（イタリア散策）」 津川 治（'73 数学）

**【懇親会】** 2号館404教室  
15：00～16：30 今年度はお飲み物（含アルコール飲料）および軽食の準備をし、みなさまのご来場をお待ちしています。（アルコール飲料、差し入れ大歓迎です！）気軽にお立ち寄りください（当日受付にて会費を3000円頂きます）

**【同窓生の部屋】** 2号館405教室  
同窓会理事会の事務局を兼ねておりますが、ご友人との待ち合わせ、歓談等にお使い下さい

**【パネル発表】** 今年度も上智大学理工学部同窓会ホームページ（URLは下記ご参照）、フェイスブック（上智大学理工学部同窓会で検索）上の発表のみとなります。

理工学部同窓会 「ビッグデータ研究会」  
理工学部同窓会 「IoT&AI研究会」  
理工学部同窓会 「モビリティ研究会」  
理工学部同窓会 「写真を楽しむ会」

井上 俊一 ('93 電気)  
鴨川 威 ('66 電気)  
濱畑 敏宏 ('86 機械)  
津川 治 ('73 数学)

注) 今後、企画を変更させて頂くことがあります。

その際は順次更新してホームページ (<http://www.sophiakai.jp/blog/rikougakubu-alumni/cat80/cat134/>) に掲載いたします。

お問い合わせ、ご意見・ご要望は、上智大学理工学部同窓会 ([rikougakubu-alumni@sophiakai.gr.jp](mailto:rikougakubu-alumni@sophiakai.gr.jp)) までお寄せください。

## 講演の概要

### ● 「エネルギーセキュリティの最前線より ～女川原子力発電所の再稼働に向けた取組み～」

#### 講演内容：

2011年の東日本大震災による原子力発電所の事故以降、それまで国内で発電される電力量の約1/4を占めていた原子力発電が全て停止し、日本のエネルギー情勢は大きく変貌した。再生可能エネルギーなど新エネルギーの技術革新が進み、今や国内発電量の約2割を担うまで発展してきているが、供給が不安定で発電コストも高いなど、日本のベースロード電源となるにはまだ多くの課題がある。現在ベースロード電力を担う石炭や天然ガスなどの化石燃料による火力発電は、地球温暖化要因となり、かつ、ほぼ化石燃料を輸入に頼っている日本では昨今の円安やウクライナ情勢などによる燃料費高騰で顕在化したとおり外的要因による影響を受けやすい。



このような状況の中、エネルギー自給率が極めて低い日本において、エネルギーセキュリティにおける原子力発電の活用が見直されてきている。原子力発電の利用には賛否両論あるが、安全を最優先とした原子力利用については、将来の日本を描く上ではしっかりとした理解と議論が必要である。本講演では、原子力発電の現状として、東日本大震災で最も震源に近い場所にあった女川原子力発電所の再稼働に向けた安全性への取組みについて紹介する。

講師：東北電力株式会社 女川原子力発電所 品質保証部 品質保証総括課長 長谷川 勝広

#### 講師プロフィール：

1995年上智大学理工学部機械工学科卒業、東北電力株式会社に入社、宮城県の女川原子力発電所に配属され発電所設備のメンテナンスを担当。その後、新規プラントとなる青森県の東通原子力発電所の設備設計および建設業務の担当など一貫して原子力発電所に係る業務に従事。2011年3月11日の東日本大震災時は、震源に最も近い女川原子力発電所に勤務し、地震と津波が頻発する中、発電所の安全停止および安定維持に従事。その後は、女川原子力発電所の新規制基準適合のための設計業務および許認可業務を対応し、2022年に3度目の女川原子力発電所勤務となり、再稼働に向け現在に至る。

## 講演の概要

### ● 「人工知能, かくも数奇な学問 - データサイエンス大学院初年度に寄せて-」

#### 講演内容：

AI はブームと冬の時代を繰り返す数奇な学問です。元 AI 学会理事としても、冬の時代の学生時代からずっと AI 学会会員だった身としても語りたことは尽きません。現在は第三回目の AI ブームですが、第二回目の AI ブームは 1980 年代にピークを迎え、1990 年代以降は冬の時代と呼ばれました。日本ではブームの盛り上がりとは冬の時代の反動が特に強かったようで、大学院で私が「AI 研究をやりたい」と言った際に恩師（後にロボット学会会長になった）が真顔で言った「AI って言葉を使っただけで撃たれるよ。」が今も強く印象に残っています。日本では長い冬の時代が続き、研究開発のための大規模な投資が継続的に行われたアメリカで AI ブームが起こる 2012 年ごろまで AI という用語が復権することはありませんでした。その後年々、本学の講義にも AI に関わるものが増えていったのは大変喜ばしいことです。



講師：上智大学 理工学部 情報理工学科 教授 矢入 郁子

#### 講師プロフィール：

1994 年東京大学工学部卒業，1996 年同大学院工学系研究科修士課程修了，1999 年同博士課程修了，博士（工学）。同年，郵政省通信総合研究所（現：国立研究開発法人情報通信研究機構）研究官，2008 年より上智大学准教授。ユビキタス歩行者 ITS のための時空間情報処理や高齢者・障害者向けインタフェース，Future Internet Project AKARI，人間行動データ分析への深層学習応用，脳情報処理などの研究開発に従事。元人工知能学会理事など複数の学会での活動のほか，総務省電気通信事故検証会議，同省紛争処理委員会などの委員を勤める。旧姓は江口。